

# 今は、待つこと!

時間は皆に平等に与えられたものです。その使い方が異なることで、様々な成果や効果、またはその逆のことが起こることです。既に分かっていることですが、ね! 何もしなければその成果や効果は期待できません。しかし、時間をかけて取り組んでも期待できない場合があります。取り組むものが同じでも成果や効果が違うのは、考え方や工夫の違いだと思います。例えば、課題を与えられて取り組む方法として与えられたものを早く終わらせる工夫をする

令和2年度がスタートしすぐに休校、始業式での挨拶もなんとなく終了式の様なお内容となってしまうかもしれません。今か、今かと待ちわびる中、更に休校が延長し「待つ」と言うことへの様々な心情が一人ひとりに湧き上がってきている頃ですね! 「待つ」ということは、何かを自分から待っていること。「待った後」に何か自分に喜びが返ってくる様な期待感を表していると感じます。今、誰のせいでもない見えない危険が過ぎ去ることを「待つ」と言うことがとても大切な行動で、一人ひとりが「待たされている」という感情よりも「待つ」ことを理解し時間を有意義に活用できる工夫をしていきましょう。

## 主体的に考えよう?

「主体的」と「自主的」の違い

か、その課題の前後の関わりを考えながら時間をかけて深く理解する工夫をするかでは、成果や効果は違うことが分かると思っています。前者はやるべきことに視点をあわせて、後者は理解すべきことに視点を併せています。このことはやるべきことを与えられた分「やらされている」様子をやるべきことを理解して「やっていますね!自分から進んでやっています」と「主体的」「やらされていること」「自主的」と理解していくください。

やらされていること

学校だより

# 千載一遇

せんざいいいちぐう

第2号  
松城中学校  
発行 山里 望



## 学校教育目標が改訂されました!

対話型新スタイル!

令和2年度、これまで37年間お世話になった「豊かな心でたくましく生きる生徒」という学校教育目標を改めて

「自ら考え、

人間性を研ぎ、

創造性豊で

力強く生きる生徒」と

しました。

いつも正面黒板の上に掲げられ、見慣れた風景の一部として溶け込んでしまい、いつも目にはしているもののなかなか意識して触れられる機会がありません。

## 学校教育目標ってなに?

皆さんが学校に通う理由として、「日本人として日本という国で生活するための大切なことを身に付ける」、「いすれ日本を支える人として身に付けておかなければならない能力等を学ぶ」大きくこの二つのことが上げられます。

このことは、憲法や法律などでしっかりと決められていて、学校は年齢に応じて全国どこでも公平に平等にその事を教えているところです。

全国といっても伝統や文化、歴史などがそれぞれの地域に根ざしてそこに生きる人たちの生活環境も異なります。

このことを考えながら、何をどのようにに教え、公正、公平に決められたことを身に付けさせるかをそれぞれの県や市町村で計画します。例えば沖縄県はどのような生徒を育てたいか、そのためにどのような活動を工夫して進めていくかを考えます。これを受けてそれぞれ地域の状況をしながら各市町村も同様なことをします。

沖縄県や那覇市が立てた目標や計画を那覇市の地域の学校でどのように生徒に分かりやすく伝えるかを示すものが学校の教育目標です。

この学校教育目標を達成するため「具体的行動目標」として「目指す生徒像」というものがあります。皆さんは余り目にするものは無いと思いますが、紹介します。

理想とする生徒の姿「英姿颯爽」(言葉の意味は自分で調べてみて下さい)

1, 自ら学び、よく考えて行動する英知溢れた生徒

2, 礼節を重んじ、思いやりと責任感のある心麗しい生徒

3, ねばり強く心身を鍛え、颯爽と社会に雄飛する生徒

年度最初に皆で確認して、力を合せて伝統と誇りに満ちた松城中学校を創っていきましょう!

